

5 DNA

イノベーションを世界へ発信する
シンプレクスの5つのDNA



Hello world, Hello innovation.

シンプレクスは世界に向けてイノベーションを発信する
金融機関の収益ビジネスに特化した金融ハイテクカンパニーです

株式会社シンプレクス・ホールディングス 東証1部：4340

代表者プロフィールと沿革



金子 英樹

(昭和38年9月1日生、47歳)

株式会社シンプレクス・ホールディングス
株式会社シンプレクス・コンサルティング
代表取締役社長

- アンダーセンコンサルティング
(現アクセンチュア)
金融機関向けシステムコンサルティング
- ソロモン・ブラザーズアジア証券
(現シティグループ証券)
トレーディング部門システム統括
- シンプレクス・ホールディングス設立 (設立当時33歳)
(旧シンプレクス・テクノロジー)

ソロモン・ブラザーズの最先端技術を誇るシステム
チームのメンバーと共に1997年に創業

シンプレクス・ホールディングス沿革

1997年9月
⇒シンプレクス・ホールディングス 設立
(旧シンプレクス・テクノロジー)

2002年2月
⇒JASDAQ上場

2005年9月
⇒東証一部上場 (会社設立から7年11ヶ月)

2010年10月1日
⇒持株会社体制へ移行
新設継承会社としてシンプレクス・コンサル
ティングを設立し、純粋持株会社となる

2010年3月期 連結業績 (実績)

売上高	: 139.7億円
営業利益	: 30.3億円
売上高営業利益率	: 21.7%

シンプレクス・ホールディングスとは

金融機関の収益業務をIT技術の側面から強力サポート

最新の
金融工学

金融工学・金融業務知識・IT技術をすべて兼ね備える

金融
業務知識

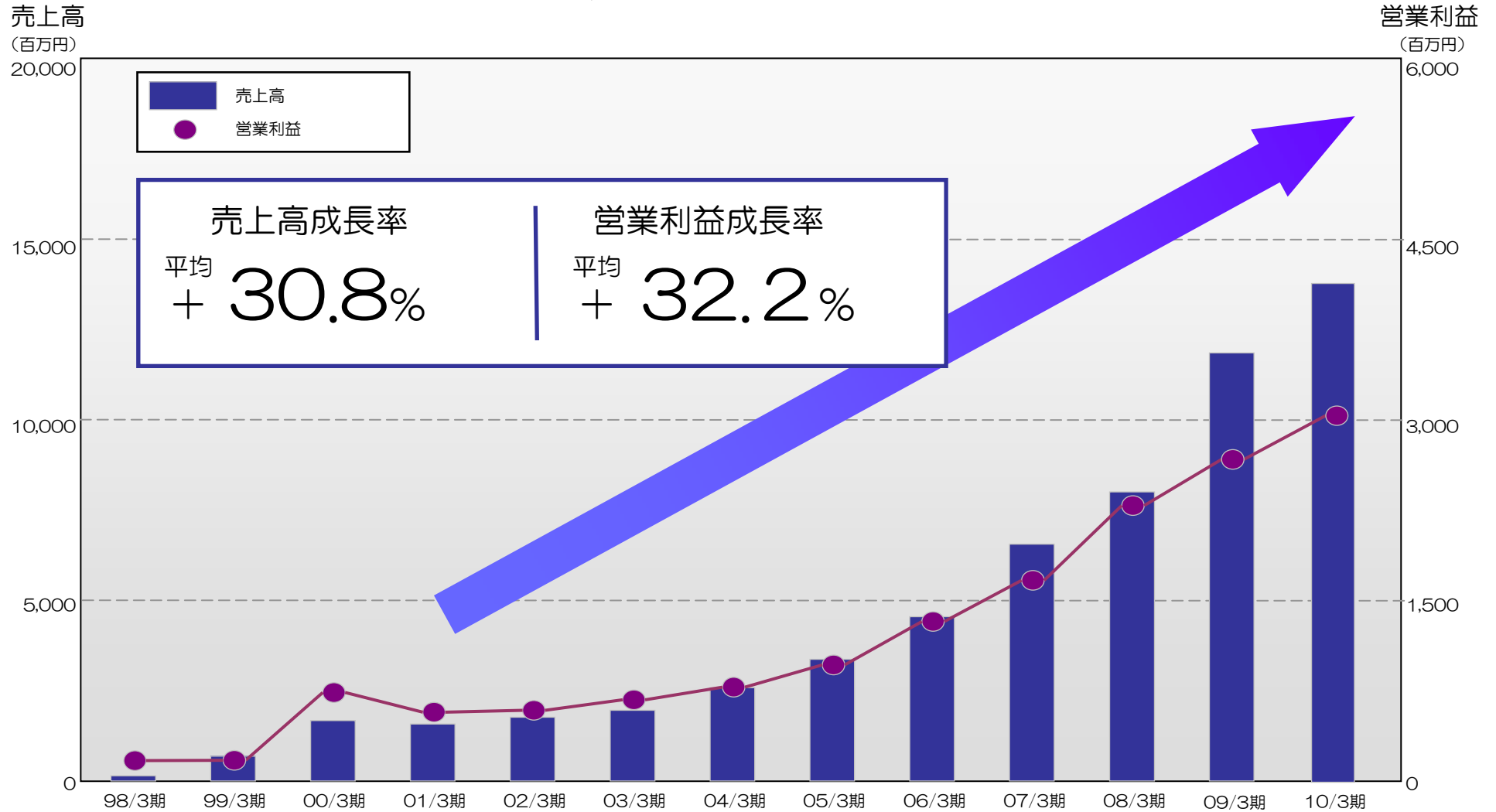
高度な
IT技術



- 顧客はメガバンクや総合証券などの大手金融機関が中心
- 参入障壁の高い金融システム開発に特化したITベンチャー企業

景況感に左右されず9期連続の増収・増益を達成

■創業時からの売上高・営業利益の推移



主要顧客は取引所・銀行・証券などの大手金融機関
債券／FX取引システムを中心としてNo.1シェアを誇る

主力製品における当社シェア

債券取引システム

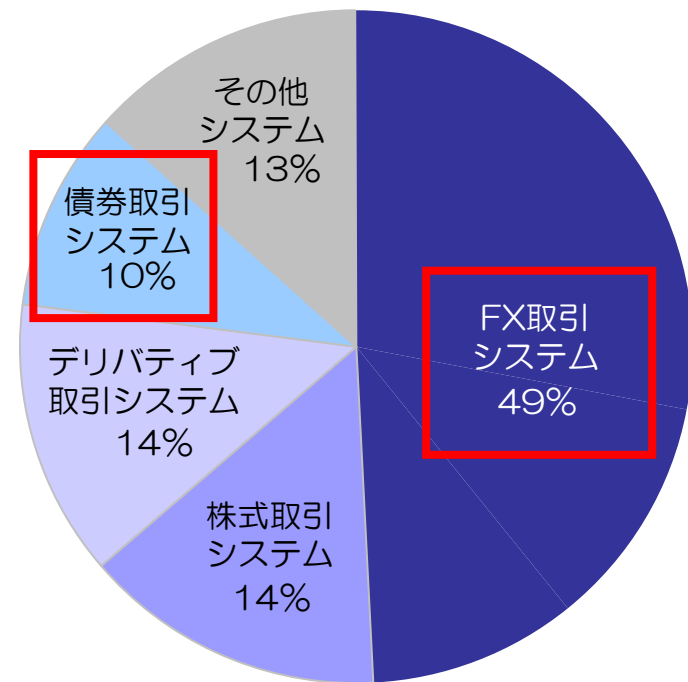
- 大手証券：10社中**9**社採用

FX取引システム

- 大証FX取引所システムを構築 (2009年7月創設)
- 大証FX参加業者：12社中**10**社採用
- くりっく365参加業者：22社中**9**社採用

(2010年9月現在)

金融システム別 売上高構成比率
(2010/3期)



高収益性を支える2つの事業

高度な金融ノウハウ・技術力の提供で断トツの収益力

売上高営業利益率の比較（2010年3月期）

業界平均	NTTデータ	シンプレクス
5.9%	7.1%	21.7%

出典：「2009年版情報サービス産業基本統計調査」ならびに22年3月期決算短信等から当社作成

高収益性を支える2つの事業

受託開発事業：SI

想定売上総利益率
40%

サービス事業：UMS

想定売上総利益率
50～60%

※SIとは：システム・インテグレーション（System Integration）事業の略称です。

※UMSとは：ユニバーサル・マーケット・サービス(Universal Market Service) 事業の略称であり、当社の造語です。

受託開発事業：SIの特徴

特定顧客にオーダーメイドのシステムを提供
(例えるなら；自由設計の注文住宅の提供)

一貫開発体制

コンサルティングからシステム開発、運用・保守までを一貫して自社で担当

システム著作権の保持

システムの付加価値を顧客に理解してもらうことで著作権を獲得することに成功

コストパフォーマンスの高い一貫開発体制

お客様のIT投資ニーズ

Simplex

コンサルティング

システム開発

システム運用・保守

システム高度化に向けた提案

お客様の収益力最大化をフルサポート

+

システム著作権の獲得

サービス事業：UMSの特徴

複数顧客に自社企画/開発システムをサービス提供
 (例えるなら；高層タワーマンションの賃貸住宅の提供)

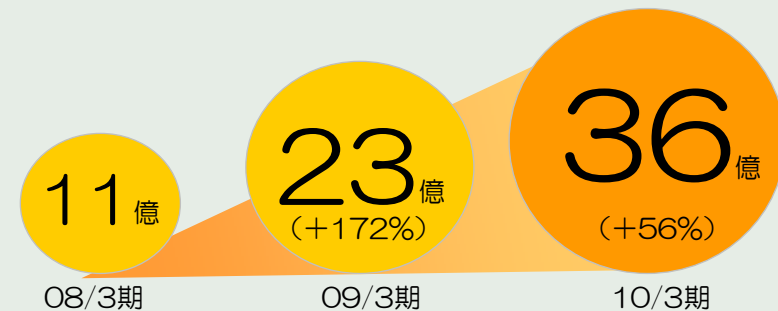
システムをサービス提供

自社システムを継続的にサービスとして貸し出すため収益基盤の安定化を実現

成功報酬型ビジネス

提供サービスの付加価値に応じた成功報酬課金を採用することで高い利益率を実現

■ サービス事業の売上高推移



■ サービス事業の採用社数推移



サービス事業：UMS主力サービスのご紹介

インターネット取引サービス：SPRINT（スプリント） プロと同等の投資環境を個人投資家の皆さまにご提供

対応商品

- 株式（現物・信用）
- 先物・オプション
- 外国為替証拠金取引（FX）
- CFD



対応チャネル

- リッチクライアント版 ※
（パソコン／携帯電話／iPhone）
- ウェブブラウザ版



（写真は当社提供のiPhoneアプリ「SimplexFX」）

導入実績

- 株式（現物・信用）／先物・オプション
野村証券、松井証券
マネックス証券
- 外国為替証拠金取引（FX）
インヴァスト証券、光世証券、コスモ証券
サイバーエージェントFX
ジャパンネット銀行、スター為替証券
住信SBIネット銀行、ソニー銀行
大和証券、野村証券、ひまわり証券
マネックスFX、マネックス証券
マネーパートナーズ、三田証券
むさし証券、ゆたか証券、豊商事
- CFD
大和証券

（2010年10月現在 敬称略 会社名50音順）

※リッチクライアントとは、専用のソフトウェアをダウンロードすることで高い操作性・表現力・機能性を実現するアプリケーションの総称です。

今期業績予想について

今期業績予想の下方修正について

■ 通期業績予想の下方修正について（連結）

	前期実績 (前期比)	期初予想 (前期比)	修正予想 (前期比)	期初予想比
売上高	139.7億円 (+17.0%)	165.0億円 (+18.1%)	150.0億円 (+7.4%)	－ 9.1%
営業利益	30.3億円 (+20.3%)	38.0億円 (+25.2%)	22.5億円 (－25.8%)	－40.8%
当期純利益	18.4億円 (+55.1%)	22.5億円 (+22.0%)	13.1億円 (－29.0%)	－41.8%

2002年上場以来、初めてとなる下方修正を2010年10月6日に発表

■ 通期業績予想の主な修正要因

大型SI案件の受注確定の遅れ

現在提案活動を行っている複数の大型SI案件の受注確定が遅れていることから、受注時期などを勘案し、今期業績予想への寄与は少ないと見込む

次世代SPRINTへの先行投資

システム安定性に対する顧客ニーズに対応するために、5億円の研究開発費を追加投資することで次世代SPRINTの早期開発を実施する見通し

※当社では初期開発売上高として10億円を越える案件を大型案件と定義しています。

成長スピード再加速に向けた重点施策

1. 大規模案件の早期獲得により再びSI事業を成長基調へ

- メガバンク・三大証券・取引所向けのアカウントセールスの強化
- グローバル競争力のあるホールセールプロダクトの強化

2. 次世代SPRINTの早期サービス化（来春より展開予定）

- 既存顧客のシステム刷新だけで年間約5億円の運用コスト削減を目指す
- 来期以降、さらなるシェア拡大と収益力の向上を目指す

役員賞与の全額カットと配当金について

1. 経営責任を明確化のため役員賞与を全額カット

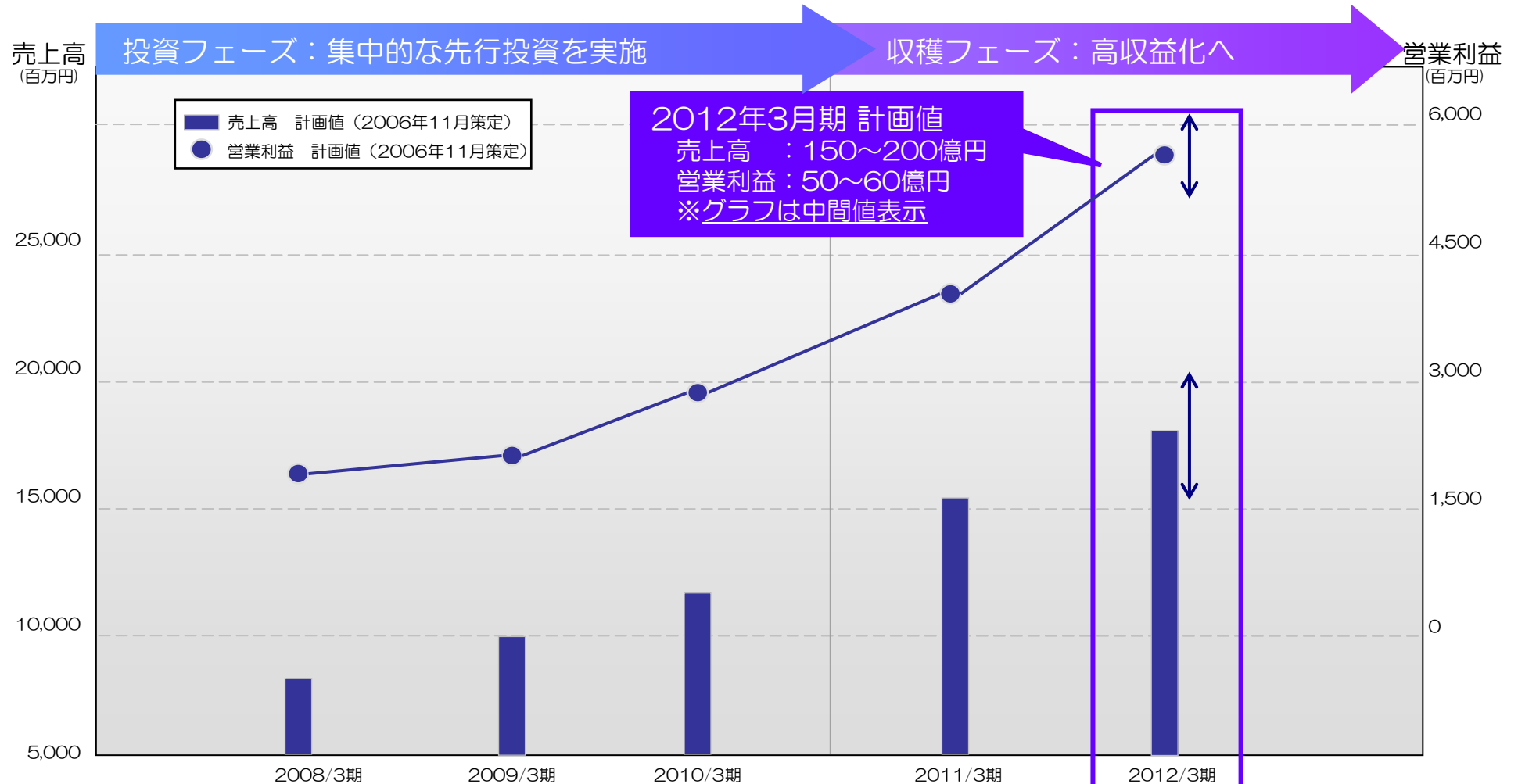
- 参考⇒前期役員賞与総額：185百万円

2. 1株当たり配当金は期初予想通り480円で実施予定

- 利益配分に関する基本方針として、配当性向を10～15%とする完全業績連動型の配当を実施しているが、配当金については期初予想を据置いているため、今期配当性向は20%となる見通し
- 参考⇒前期配当金：400円（配当性向：11.9%）

さらなる成長を目指す 第二次中期事業計画

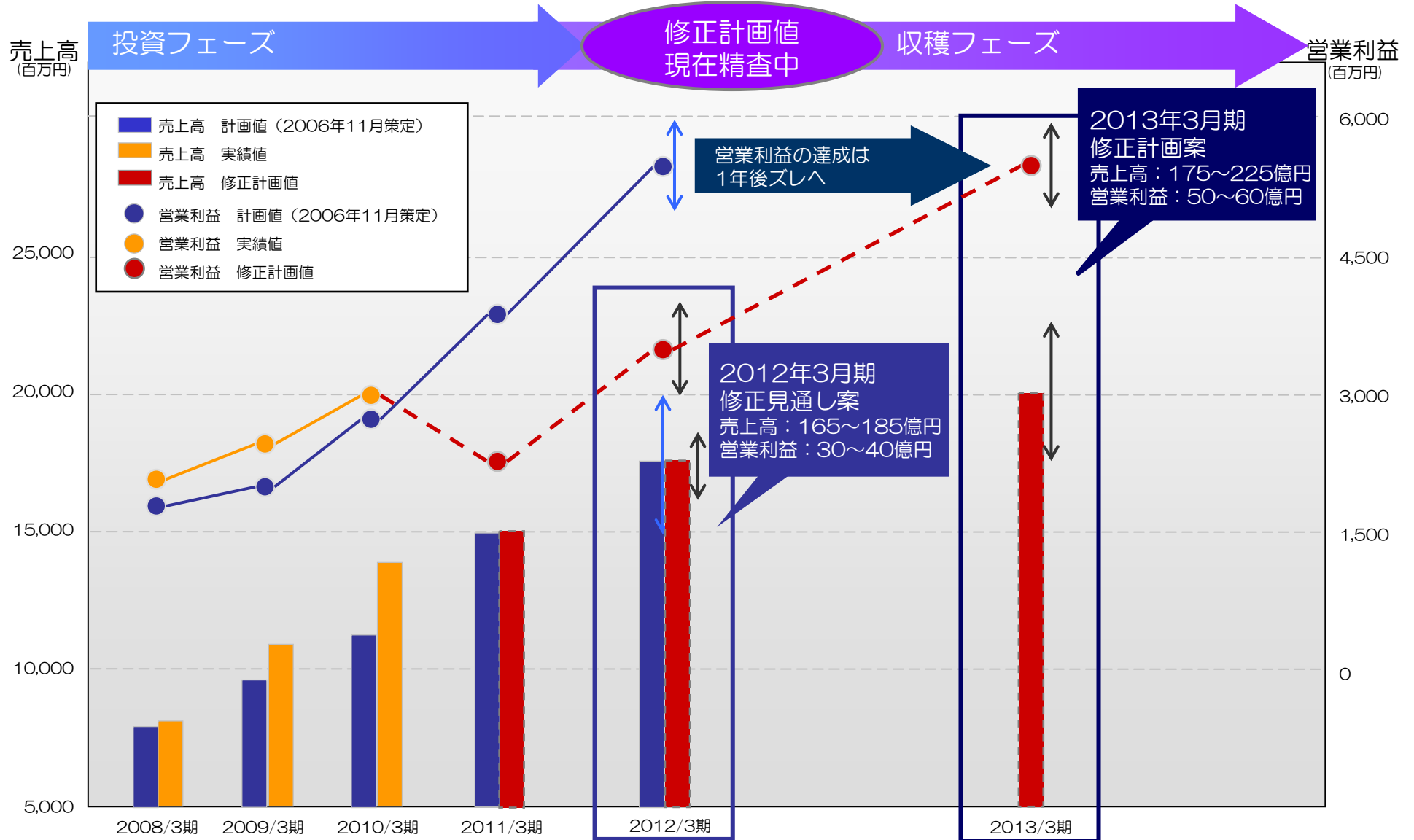
従来の第二次中期事業計画（2006年11月策定／5カ年計画）



今回の業績下方修正を受けて第二次中期事業計画を5カ年⇒6カ年へと延長する
 修正第二次中期事業計画を来年5月までに発表予定（最終年度営業利益は従来予想を目指す）

※UMS事業向け先行投資として、5年間で50億円程度の投資を実施予定です。
 ※投資コストは各会計年度で費用化することを前提としています。

現状における修正第二次中期事業計画案（5カ年⇒6カ年計画に延長予定）



シンプレクスが目指すもの

コーポレートスローガン

イノベーションを世界へ

Hello world, Hello innovation.

■コーポレートスローガンに込めた理念

これまで世の中に存在しなかったイノベーション（革新）を
クライアントと共に追求・創造し、日本から世界に向けて発信する

5DNA

5 DNA

イノベーションを世界へ発信する
シンプレクスの5つのDNA

1. ナンバーワン

2. クライアントファースト

3. コミットメント

4. プロフェッショナリズム

5. グローバル

上場企業初の「IR宣言」

2009年11月2日発表

1. IR活動を経営の最重要項目のひとつとして位置づけます。
2. 東証一部上場のパブリック企業として説明責任を果たし、常に明瞭な企業メッセージを発信いたします。
3. 業績動向や事業環境に関わらず、一貫して公正で信頼性の高い情報を開示いたします。
4. 企業認知度の向上を目指すとともに、すべての利害関係者に対して公平かつタイムリーな情報開示に努めます。
5. 株主・投資家とのコミットメントを遵守し、ゆるぎない信頼の構築に努めます。

持株会社体制への移行

1. 2010年10月1日からの新体制

(株) シンプレクス・ホールディングス
(純粋持株会社)

(株) シンプレクス・コンサルティング
(新設継承会社)

2. 移行のメリット

- 事業提携やM&A等の戦略的推進
- グループの戦略マネジメントと経営資源の最適配分

ホームページのご案内

Simplex HOLDINGS, INC. シンプレクス・ホールディングス

グループ・企業情報 ニュース IR情報 採用情報

English 文字サイズ

No.1 Player
あくなき挑戦
イノベーションを世界へ発信する
シンプレクス 5つのDNA

Hello world, Hello innovation.

2010年10月1日、シンプレクスグループは更なる成長を遂げるため
シンプレクス・コンサルティングを中核会社とする持株会社体制へと移行しました

最新ニュース [RSS](#) [RSSについて](#)

2010年11月19日 [IR情報](#) テクノロジー企業成長率ランキング第8回「日本テクノロジーFast50」受賞のお知らせ [シンプレクスHD]

2010年11月17日 [IR情報](#) 個人投資家向けIR会社説明会(札幌)開催のお知らせ [シンプレクスHD]

URL : <http://www.simplex-hd.co.jp/>

当社のホームページでは株主・投資家のみなさまの利便性や情報提供の即時性を考慮し、最新のリリースや財務情報、決算公告、その他IR関連の資料掲載、IRブログを掲載しております。是非ご覧下さい。

本資料に掲載されている当社の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しとなります。現在入手可能な情報から得られた当社の経営判断に基づくものであり、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績は、当社の見通しと異なる可能性があります。また、本資料は投資勧誘を目的としたものではなく、銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。